

クリニカルリーズニングで
内部障害

理学療法に強くなる!

c o n t e n t s

● 監修の序	相澤純也	3
● 編集の序	田屋雅信	5
● 本書の見方		8

第 1 章 クリニカルリーズニングとは

1. クリニカルリーズニングの定義とプロセス	相澤純也	12
2. クリニカルリーズニングの学習法	中丸宏二	18
3. 客観的指標とフィジカルアセスメント（主観的評価）のとらえ方	田屋雅信	23

第 2 章 循環器疾患のクリニカルリーズニング

1. 心不全 血圧が低く息切れを認めるが、運動療法ができるか？	田屋雅信	30
2. 心臓弁膜症術後 術前からの心不全により低栄養を併発しているが、離床できるか？	櫻田弘治	47
3. 急性大動脈解離術後 術後酸素化障害を認めるが、離床できるか？	安達裕一	67

第3章 呼吸器疾患のクリニカルリーズニング

1. 急性呼吸不全

人工呼吸器管理中であるが、離床できるか？ 渡邊陽介 86

2. 慢性呼吸不全

自己排痰に難渋しているが、どのように排痰させるか？ 花田匡利、神津 玲 103

3. 間質性肺炎

運動誘発性低酸素血症を認めるが、どのような運動療法を行うか？ 平澤 純 118

第4章 代謝疾患のクリニカルリーズニング

1. 糖尿病

血糖コントロールが不良であるが、どのような運動療法を行うか？ 設楽達則 134

2. CKDの急性増悪

浮腫や呼吸苦を認めるが、運動療法ができるか？ 堀田千晴 150

第5章 その他のクリニカルリーズニング

1. がん

倦怠感が強いが、どのような理学療法を行うか？ 長谷川真人 170

2. 心不全（フレイル）

フレイルを呈している心不全に対し、どのような運動療法を行うか？ 河野裕治 187

3. 心不全（在宅）

在宅維持期の心不全に対し、どのような自立支援を行うか？ 竹村 仁 200

● 索引 216

● 執筆者一覧 221